

■ ■ 第32回優良省エネルギー設備顕彰 ■ ■

「湯守 ホテル大観」など4件、 顕彰式を盛大に挙

冷凍空調設備の第32回優良省エネルギー設備顕彰式が、3月18日、東京・品川区の東京マリオットホテルで業界関係者ら多数が出席して挙

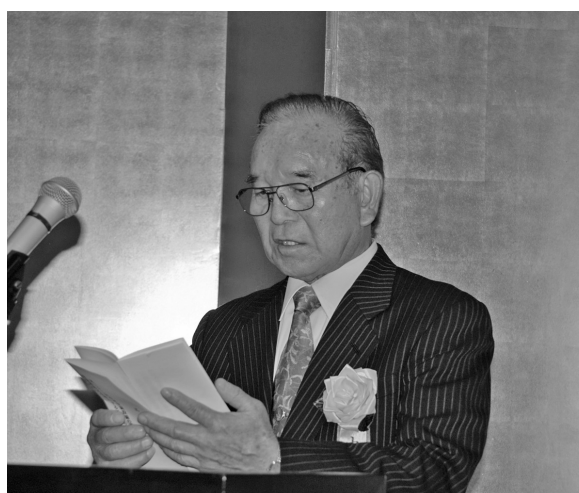
4設備を顕彰、省エネセンター最優秀賞に (株)東洋製作所

今回の顕彰設備は新設設備部門1件、改修設備部門2件、運転・保守管理部門1件の合計4設備で、うち(財)省エネルギーセンター最優秀賞に、(株)東洋製作所が施工し、湯守 ホテル大観に導入した『温泉排湯熱を利用した廃熱回収ヒートポンプによる高効率熱源併給システム』が、優秀賞に菱名工業(株)が施工し、福井県農業試験場に導入した『脱・化石燃料のための地下水を熱源としたヒートポンプの応用研究』、細谷工業(株)が施工し、榛名酪農業協同組合連合会に導入した『牛乳冷却用氷蓄熱利用チルド水製造設備』の2件、奨励賞に(株)立花エレテックが施工し、自社本社ビルに導入した『照明LED化に伴う冷房負荷低減による省エネ効果検証』の1件を顕彰した。

この度受賞された設備は、川瀬貴晴千葉大学教授を長とする特別委員会を2月18日に開催、慎重審議のうえ以上の4設備を選出した。

顕彰式は鹿沼昇・経済産業省製造産業局産業機械課課長補佐、山本正樹・(一財)省エネルギーセンター常務理事、勝田正文・(公社)日本冷凍空調学会会長、岸本哲郎・(一社)日本冷凍空調工業会専務理事らが来賓として出席した。

定刻の午後3時30分、司会の南雲誠専務理事が開会を宣し、次いで中西登喜男会長が「当会の優良省エネルギー設備顕彰事業は、皆様のご協力により今年で32回目を迎えることができました。」と述べ、「今や、省エネルギーの推進やCO₂の削減は、国を



式辞を述べる中西会長

挙げて取り組むべき課題であることから、我が冷凍空調業界におきましても更に積極的に対応することが重要である。と同時に、我が冷凍空調業界は、お客様への設備改善提案による省エネルギー強化が重要であり、中長期的にみれば、お客様への経営改善、経営支援につながるものと考えている。そして、多くの原子力発電所の運転が止まっている今日、より一層の省エネルギーの推進と環境負荷のない新エネルギーの利用促進、さらに確実なフロン回収、排出削減など環境負荷の低減は、設備産業に携わるわが業界に課せられた重要な使命である。本日ここに顕彰を受けられた皆様は、このような環境を十分理解し、困難な条件を克服され、日頃蓄積された技術を駆使され、省エネルギーに尽力されたご功績は多とするものであり、そのご努力に深甚なる敬意を表するものである。」と式辞を述べた。



川瀬貴晴審査委員長



受賞者代表謝辞を述べる黒川社長



感謝状を授与される(株)大観 佐藤会長

次いで、川瀬委員長が審査結果の発表を行い、受賞4設備の省エネルギー技術の特徴について講評を行った。

次に顕彰に移り、はじめに(一財)省エネルギーセンター最優秀賞の湯守 ホテル大観に導入した「温泉排湯熱を利用した廃熱回収ヒートポンプによる高効率熱源併給システム」の施工者、(株)東洋製作所の黒川英樹代表取締役社長に顕彰状が、設備所有者の(株)大観の佐藤正義代表取締役会長に感謝状が、同センターの山本正樹常務理事から記念品と一緒に贈られた。

また、優秀賞、奨励賞の施工者には顕彰状、それぞれ設備を導入していただいた設備所有者には感謝状を中西登喜男日設連会長より記念品と一緒に贈られた。

「更なる省エネで社会貢献を」と受賞者代表謝辞

賞状授与のあと、受賞者を代表して黒川英樹・(株)東洋製作所代表取締役社長から「一昨年、盛岡のつなぎ温泉にあるホテル大観様に、我が社の廃熱回収設備をご採用いただきました。一昨年12月に稼働し、昨年2月には現地に行って、稼働していることを確認してきましたが、その年の8月に盛岡で豪雨があり、納めた設備が水につかり動かなくなってしまいました。その後、10月には復旧し、再稼働を始めました。一昨年の冬と昨年の冬と2年続けて無事冬の時期にお使いいただくことができ、延べ12ヵ月の実績を得ることができました。一度災害にあった設備を十分ご活用いただいていることと、このような場で最優秀賞をいただけたことに、心よりお礼申し上げます。更なる、廃熱回収設備の普及を図っていきたくと思います。今後とも、皆様方のご支援をお願いします。」と受賞の謝辞があった。

「温暖化対策に貢献していることを誇って欲しい」

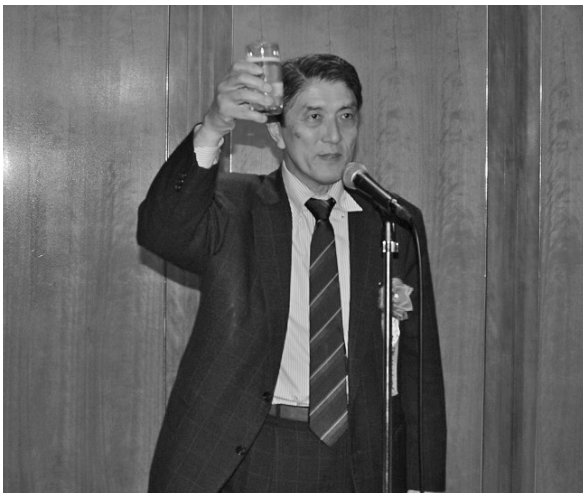
最後に、来賓を代表して勝田正文・(公社)日本冷凍空調学会会長より「東日本大震災以来、エネルギー供給のセキュリティが重視される中、CO₂削減、環境保全に向けた活動に対して、若干の危機感を感じた記憶があります。このような貴会の地道な活動というのは社会的な重みが増しており、一層のご活躍が期待されるところでありま



勝田(公社)日本冷凍空調学会会長



資源エネルギー庁省エネルギー対策課福田課長による記念講演



乾杯の音頭をとる岸本(一社)日本冷凍空調工業会専務理事

す。地球温暖化が叫ばれ、顕著な気象変動が地球のそこそこで現れはじめています。ハワイのCO₂測定で数値が許容限界値を超えたと報告がされています。このままでは、我々の子孫に灼熱の地球を残すこととなります。我々冷凍空調業界に携わる者として設備を高効率化することで省エネルギー化を図り、CO₂の排出量を低減することで、この温暖化への対策を行っていく責務があると思っています。そういう意味でも、この4件の設備が顕彰を受けられましたことは大変喜ばしいことです。また、この顕彰は、施工者だけでなく、その設備所有者の皆様も対象となっています。省エネルギー設備の普及することで、会社の業績を

上げるばかりでなく、地球温暖化対策への貢献となっていることを是非誇っていただきたい。これからも、省エネルギー設備の開発・普及をすることにご尽力をいただくことをお願いしましてお祝いのごあいさつといたします。」と祝辞を述べた。

「無駄のない賢い使い方による省エネ」と記念講演

引き続き、経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー対策課の福田敦史課長による「最近の省エネルギー政策の動向について」と題する記念講演が行われた。

同講演で福田課長は、「わが国のエネルギー消費の現状」、「我が国の省エネルギー政策」、「今後の省エネルギー政策の方向」、「予算・税」の4つパートに分けて説明した。

はじめに、「我が国のエネルギー消費の現状」では、「1973年から2012年までを比較すると、GDPが増えている割には最終エネルギー消費が伸びていない。ある意味、省エネが進んでいると言えます。また、分野別に見ると産業部門は省エネ化が進んでいるが、特に、民生の業務部門と家庭部門は増えている」と説明した。

次に「我が国の省エネルギー政策」では、「省エネ法に基づき対策を講じているところであるが、『工場・事業場』や『運輸部門』では、各事業者が努力義務を課し、判断基準を公表しています。また、一定以上のエネルギーを使用している

特定事業者や輸送用の貨物・旅客のトラックや車両を一定以上保有している特定輸送事業者には計画報告の提出を課しています。『住宅・建築物』の分野では、延べ床面積300m²以上の新築・大規模改築を行う場合には届出をして省エネ基準を満たしているか確認することになっています。『エネルギー消費機器』については、製造メーカーに、いわゆるトップランナー制度を設けて取り組んでいただいています。また、昨年5月に省エネ法が改正され、建築材料、断熱材などもトップランナーの対象に広げました。」と説明した。

次に、省エネ法について詳細に解説した。

さらに「今後の省エネルギー政策の方向」について、「電力需給バランスを考慮した政策、その中でも電力ピーク対策を促すような法改正を実施しました。また、住宅・建築物の省エネ性向上と機能性向上を一層図っていくこと。さらに、無駄

のない賢い使い方による省エネ、『エネルギーマネジメント』という考え方を普及させていきたい」と説明した。

最後に、省エネ関連の「予算・税」について説明し、講演を締めくくった。

和やかに記念パーティー

顕彰式に引き続き、別室で記念パーティーが開かれた。同パーティーは、鳥波益男・日設連副会長のあいさつの後、岸本哲郎・(一社)日本冷凍空調工業会専務理事の乾杯の音頭で始まり、受賞者、業界関係者、報道関係者など多数の方々が参加し、和やかに歓談、あちこちで情報交換をする姿が見られ、中西邦夫理事の中締めで盛会裡に終了した。

第32回優良省エネルギー設備顕彰受賞者一覧

No.	部門	設備施工者	設備所有者[設備建物名]	テーマ
1	一般社団法人 省エネルギーセンター 最優秀賞 [改修設備部門]	株式会社 東洋製作所 (神奈川県大和市)	株式会社 大観 [湯守 ホテル大観] (岩手県盛岡市)	温泉排湯熱を利用した排熱回収 ヒートポンプによる高効率熱源 供給システム
2	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業 連合会会長優秀賞 [新設設備部門]	菱名工業株式会社 (愛知県みよし市)	福井県農業試験場 (福井県福井市) 菱名工業株式会社 (愛知県みよし市) [園芸用ビニールハウス]	脱・化石燃料のための地下水を 熱源としたヒートポンプの応用 研究
3	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業 連合会会長優秀賞 [改修設備部門]	細谷工業株式会社 (群馬県高崎市)	榛名酪農業協同組合連合会 [本社工場] (群馬県高崎市)	牛乳冷却用氷蓄熱利用チルド水 製造設備
4	一般社団法人 日本冷凍空調設備工業 連合会会長奨励賞 [運転・保守管理部門]	株式会社立花エレテック (大阪市西区)	株式会社立花エレテック [本社ビル] (大阪市西区)	照明 LED 化に伴う冷房負荷低 減による省エネ効果検証